

バストス週報

第三百八十五号
昭和卅二年八月廿七日 発行
DIRETOR KOITI MURI
REDATOR SHION YODA
RUA PRES. VARGAS 188
C. P 712
BASTOS C. P
ANUAL 100\$-

閑話休題

農業の新様相

土と取組む農業ではあるが、**せんく**と**農法**がむつかしくなってきた。戦後北米の**道んだ**農機械が伯国の農家へもちこまね、**バス**トスへも遂にその姿を現わすようになった。今は殆んど**バス**トスに七、八年を逡巡したわたり、**牛馬**の力に代る時代を出現した。トラクトールを上手に使いこなすと十アルケール位の雑作なら一人でさばいてしまふ。耕作面積がひろがれば収入もエンヤイタ時代と比較すると十倍以上に増して来た。その代り旧耕地に肥料が必要となり、**害病虫**と闘わなければならぬ。農法も**農学**の基礎を無視しては成り立たなくなつて来た。経験は大切だが経験だけでは心細くなつてきたといふのである。牛馬の力にトラクトールがとってかわるとは言いながら、トラクトールにも、**せんく**からくりまであり、シネマ見物のクルマ代りになりぬものもある。力は一はいの仕事をする車にムリがいさ、**折角**の儲けも修理代に注ぎこんで懐工合の豊かにならぬ。話もある。又**道ん**は、すはうしい**精能**の車量車がある。われ、**車**の**ゆき**が**農業**の成績を左右するようになったともいわれる。こういふ機械力が**農業**をやるといふには、**鶏糞**売却の可否も始終あると怪力がないと百姓になれない時代であるといえる。**鶏糞**売却の可否も始終議論のタネとなり、**新作物**にも**西瓜**の次に来るものも早くも研究する元輩があり、**ホンカン**の**氾濫**に頭を悩ます小先輩もある。バストスのような旧地帯では結局酪農として悠々たる生活設計をすること。が**目前**の課題である。判るはいても、**日本**人的性格が果して**酪農**的かあるか否かは、まだ研究されてないようだが、**バス**トスの**農業**の在り方と将来について**先輩**の意見発表があり、**ろう**なものと思つてゐる。

2 脅迫未遂

日本から来てまの**新**ちやんがさる室名商に**脅迫**状を送り、**エレバドール**の中へ現金何百コトとかを入れておけといつて、**まん**まとつまつた事件は**新聞**や**ラジオ**で報道され、**マカ**コや**ゴリラ**をほつとさせた。脅迫や**恐喝**などありふれていて、**珍**らしいことではないが、**セ**ンゴ派の**新**ちやんが活動まがい、**で**ヤンク派、**英**語など使つてゐる。

ALFAIATARIA IMPERIAL

サッソウ たる マルヤマスタイル
シツキル マルヤマスタイル
ラランラン マルヤマスタイル
マルヤマスタイル



丸山洋服店

CAJA TARODA

わたしは、なにがほしい？
というアンケートに対し十七オカラ二十オまでの娘さんは一〇〇% つぎのようになつた
マキブネ コスツトラ シンゼル
シンゼルのミシンは
御用命下さい
フレスタンでさし上げます
太郎田商店みしん部へ



取ったところ、**此**の事件で**新**ちやんの凄みに感心などして居られない。いらくな事件で**コロニア**人はつらさをよごされて居る。今度**ギンク**も**米**人並みにある。ことが証明され、**肩身**がひろくなつた。それにしても**エライ**奴を呼びよせ、**た**の。吾々は**三十**年も居て**ゴリラ**呼ばりをされるけれど、**脅迫**一つ出来ないと、**この**新ちやんには遠く及ばない。

3 經理の問題

ある有名でない**会社**が有名な**銀行**と**債**権関係を起し、**帳尻**がくいちがたまま、**双方**決算報告をして、**何**年かの後、**それ**が判り問題になつた相である。当時の**債**票

松法を編べても押えぬが、結局は
 の金計係が責任を追及されたが、関係者
 は何れも現存せぬので、疑問もできず、地
 獄に召喚状を出す可きかどうかというこ
 とになった。妙な経理もあつたしのだ。
 その他半高人の財産詐欺、農林省官吏の
 公金横領、幾多の幽霊会社の経理は一体
 とんな仕組になつてゐるものか。頭がい
 いのが、こころざれば、けつこつとれるのじや
 ないかと先日頭の悪いのが相談していた。
 (S.S.S.S)

老人會よろめき

乍ら立ち上る

○来る九月二十二日(ドミンゴ)

夜七時より開始

○場所 バストス産業会館

○出場資格者 四十歳以上(男女共)

○のど自慢 踊 曲藝 その他

○入場料は、いたたかぬこと

「お花」は個人分もイラストリヤ建築

資金へ寄附、御承知下さい

○心臓の強いお方は、早いとこ出場

御申込み下さい

アナウンサーに本田さん 西川さん 榎野さんと決定
 ミクロフネ、ネは、ヒバリ楽団よりお借りすること
 舞台係に湯井さんを依頼すること、右側車も
 勝手に取りよめ、あとで依頼に行くとお相
 談しました。どうぞよろしく

世話係 週報社

指物師を求む

クイケンのある

さしもの大工さん一名

お雇い致します

カーザクローリア

福森家具店

(シネマカンの上々隣)

Marceneiro

Procura-se um

バストス短歌会

作品「冬」の雨

Sapataria Bastos

仕事をするときには
 仕事着
 靴もシゴトグツ
 半長はカルサの先
 ハンカ
 がよごれずキモクが
 元々
 クワのご相談なら

早川靴店



Relojaria Confiança TUPÁ

信用第一
 お客様の身になる
 よい品を
 美上げます
 時計
 貴金属
 フリアンサ
 懐身具
 メガメ
 楽器類



ツパ市
 中村時計店
 アベニ-ダ
 タモヨス 659

フリキ細工一式

並に修理いたします

何でも御用命下さい
 大至急御まに合せいたしませう
 カサスベルナン スカーオスの下隣り
 清水フリキ店

シマクト耕耘機代理店
 手がるなシマクト機 御申込み下さい

漸くに炭火起りし部屋の中
 扶美
 待つばかりはなると思へどいづく
 股火にて見る窓の雨脚
 早

着ぶくれの修学旅行に茶の香子と
 雨降る門に見送りて佇つ
 子エ
 晴れて未し池に小さき波紋ねて
 菊子

素朴柳の雨平す
 羊鈴
 たどりゆくぬかるみ道に人もなく
 われに冷たい冬の雨風
 忠雄

遠くまで工事道もぬイクレジヤ
 次復命不足に又雨の雨

第三 槐根の形、色、質、味等の相互関係と変化に就て

1 土地の状態及び理学的諸性状と
 藨の形態、香味の变化
 砂地粘土、湿地、肥瘠等と土地の状態、酸度、湿度、水分、空気等の理学的性状の如何によつて藨の形が長くも短くも細くも太くも厚くも皮の色も濃くも淡くもなる。土中の酸素の多少は土の肥大に大きな影響を持つ。実験的に色々の操作をなし土中の酸素を調節すると酸素の多いと藨がつきよく太りやすい。

2 藨の皮の濃淡
 作つた土地が砂地だったり、乾燥したり、瘠地の場合は藨の皮の色がうすい。湿地腐植土、粘土地、肥料がさいて居る場合は色が濃くなる。実際作る場所により違ふ品種と考へる位、差があるのを経験された方も多いと思ふ。又品種により紅赤といった様なものや、黄白の藨との間に深山の品種と色相がある。

3 藨の葉の長
 A 條件の良し時葉も若く良くなり、蔓が長く程藨の数が多し。蔓が短くとも若く太い苗で土地、湿度の湿気があれば一節に多く藨の数が時に八、十個という様な事も見受けられる。

4 老化した蔓や親葉を枯らしたり、植付(挿)苗時期が乾かす場合、藨の数が少い。出た根は中心柱細胞の木質化が早く大で外に太る肥大成長のものである形成層活動力がたぶるの藨の数も少く小さい。

5 短日長日と温度とイモの大小及收量
 短期的に見て日が長くなり暑くなつて行く時は土地の状態と環境とをよき藨の数は多くなり太るが、日が短く温度の降る時期に挿した藨は藨の数が少く細いイモがつく。

6 短日長日と温度とイモの大小及收量
 短日では同化が少いといふことである。短日には長波長の紫外線や紫外線が葉を伸張を抑制し、葉の状態で澱粉蓄積をするようになる。結局長日のもとで盛んに成長させ短日に向いて収穫することが多い。アラジールでは十月一、二は挿し、八月に収穫することが多い。挿し、八月に収穫する場合はイモが小さくなる。

7 短日長日と温度とイモの大小及收量
 イモが肥大してから冠水が高温かついた後に蒸らすと焼くも中にシンのある藨があることがある。これはイモが水攻めにある呼吸困難になつたり、高温のためにイモの中の細胞が死に細胞と細胞と境目にあるプロトペクチンが溶けない性質にかわり細胞がはなれなくなつた為である。冠水がつかればイモが小さくなる。

8 藨が遠くついたり、茎に接し集合して理由
 砂地又は砂地がかった土地に挿した直後、土

Seraria Nossa Senhora Aparecida
 (Proprietario) Sr. Firmino Ponatti
 AV. SÃO PAULO No. 1000 PARAPUÁ C.P



Representante em Bastos
 Tomosaburo Saito
 Rua Pres. Vargas 442
 養鶏用 器具マテイヤ
 建築用マテイヤ
 バストス代理店
 齊藤友三郎
 カルトーリヨ向ヒ

Atacado e Varejo 製材
 madeiras serrados
 Taboas ターボア
 Caibros カイブロ
 Mata Juntas マタジュンタ
 Balaustres セルカ用 リッパ
 Peroba ペロバ
 aipe アイペ
 Ripas リッパ
 Vigotas ビゴッタ
 マタジュンタ
 セルカ用 リッパ
 セーロ
 カネロン

地のしりりが適当で植痛みもない場合は藨の数が多くなり、それが高畦で一、三m位の広幅の場合、畦の中央に接し集合と藨がつく。二、三m条件の場合、同様に太くも藨が長いので、收量も多い。直立挿等にかたまつてくのは当然である。

9 細長いイモのつく場合
 A 挿した当時畦の表面が乾いておれば水分が不足する。水分のある所まで伸びるので遠くの方に藨がつく。
 B 又挿した頃の気温が十度以下に下る様な場合、殊に砂地は夜間温度が下りやすい。こういう場合も根が適温をさがして伸びるので遠くの方に藨がつく。

10 徒長癖と收量の問題
 イモの出来のわるい時や、バイラスにかかった様な場合、細長いイモがつく。サウバが葉をくつた様子を時又雨の時畦立てして土がかわくしまり、空気の乾燥の悪い様なところでは、徒長癖と收量の問題
 徒長癖と收量の問題
 甘藨が冠水や砂をかきかたり、除草に際し蔓が土で深く埋つたり、窒質肥料が多すぎたり、土地が過湿だったりした場合(それ迄の条件がよき程度で藨になりかけていたものも)根が根に変わる中間の働きをするものができ、だから根下では太すぎ、藨に比べて長すぎ、様なものも出まると、二人にたると光合成による澱粉が多すぎるの、貯えるところが少ないので、益々伸びる方にまわる。こういうことで徒長癖が出来た。茎葉がよく繁つても收量は非常に少く、形もそろわ

11 諸の質と味と収量
 甘藷は粉質粘質中間質の三通りがある。粉質のものは焼きイモや蒸しイモ、天フラ等とてよろこばれる大変味の良いものである。粘質のものは水分も多く味も淡白である。収量が多いので加工原料とせられる場合が多い。中間質の中は味もよく収量も多いものがある。

12 土質と肥料と藪の味
 同じ品質なり砂地のものが堅くしより味もよい。腐植質や湿地窒素肥料の多いものは味も悪い。灰をやることも太り加量もきこのでよい。

13 藪の貯蔵と味の变化
 粉質のものは煮てもよい。でもうまいが貯蔵すると藪の中に入っている酵素のために澱粉が糖化してこのが大変あまくなる。

第四 甘藷の新品種の育成

交配による新品種の育成
 甘藷には花が咲くがそのまを採っておけば実がなるとの周知のものがある。そこで各々を色々のものをかけ合せてよいものを選び出すのである。ここに注意せなければならぬことは、サツマイモは自分の花粉をメシベにつけてやっても実を結ばぬ。今のところ品種中に三つの不稔性群があることが知られて居り、自花のみならず同一群内の品種同士でも交配しても実を結ばない。違った群同士で交配を行はねば完全な実を結ばない。サツマイモの朝顔は同じ科であるから非常に似たりが、各節から長い花梗を出し4〜10個朝顔に似た薄桃色の花を同様に種子は一果に一〜三粒朝顔に似た小形で黒色である。一粒の時は丸味を帯び三粒の時は一方に稜がある。逆朝顔に似、種子の両者を見わけれることは一寸困難である。今日日本の新品種の育成による品種変遷の跡を辿ると見ると

主要甘藷作付割合 (農林省発表)

品種名	源氏	紅赤	太白	七福	オオ多	尾崎	その他	計
昭和七	32.5%	19.3%	2.2%	8.8%	6.8%	3.5%	8.8%	81.9%
昭和二九	3.7%	0.8%	4.2%	1.9%	0.3%	0.0%	1.8%	12.7%

昭和七年源氏紅赤七福等十種たるを八二%の栽培面積を占めていたものが昭和二十九年には一七%に激減していることがわかる。これは沖縄で採種日本へ育種した農林系統によりおきかえられた結果である。

品種名	農林一	五五	十号	1003	護国	その他	計
昭和二九	27.1%	11.6%	2.5%	10.5%	18.6%	9.9%	80.2%

農林一号と号と呼はれる新品種栽培は昭和七年には〇であったものが昭和二十九年には日本栽培面積の八割を占めるに到った。

源氏紅赤等を駆逐して結果前表が示すように旧品種の栽培一七%に激減した。

2 淘汰選抜による法
 これ選作されているもの多くは栽培中に現われた優良の形質のものを選抜したもので長年の淘汰によるものが多い。フラジルの様に年中作れるところから大面積栽培するところではその機会も多しと考えられる。注意を怠りぬ事と利用することである。

3 甘藷の改良目標をここにおくか
 食料にすぎない味澱粉糊餡葡萄糖アルコールブライル 飼料等収量の多いもの。その増産に沿って改良をすすめて行なうべきだ。増産を容易にせなければならぬ。今年送り出す交配種は大変成績がよいと思っている。(つづ)

枯藷 菊
 枯藷を束ね満より掃いてをり 富美
 枯藷を束ねる言葉はさびしくなく 米子
 枯藷の束縛の姿棚にあり 奇峰
 枯藷を束ねて青の芽を 赤子
 釘ゆるむ箱の崩れや菊枯る 和枝

LIVRARIA STA. TERESINHA
 RUA PRES. VARGAS 189 BASTOS

Livro para admissão
 Em breve
 a) Koodansha no E.H.O.N
 b) Calacões - presta coes
 Dicionarios Diversos

中学予備校入学生の本
 教科書色々
 講談社の子供用絵本 近着予定
 叢書もの 全集もの
 (石レスタンで居ます)

バストス
 小林書店



八月四日(日)日記

三年 橋本洋子

今朝は日曜日なので、ゆっくりやすみ八時におきました。カフエー過ぎにそらじをすましお母さんのこじんじやのおてつだいしてから、あるもつさをお父さんにもって行きました。ひるすぎべんきようしてからお花をなういました。よるはおねえさまと、こじんじやのあとかたづけをすまし、すこし本をよんで休みました。

八月四日 日記

三年 水本隆子

日曜日だからおそくおきた。お茶をのむとすぐ仕事にかかった。とり小屋へ行ってたまごのせんべつをしてから、十時ごろおけんを食べた。ちよとやすんでからまたたまごをみろいにいった。おひるすぎにかたづけなどしていろいろうちに夕方になってしまった。くたくたになったのでべんきようはできなかった。ゆうはんをたべてからすぐねた。

八月四日の日記

三年生 上田晶代

きよう朝はやくおきてミサにいきました。ミサにいきしなにあともだちをさそいにいきましたがおともだちはいかなかったのでひとりで行きました。ミサがおわるとすぐおけりしました。うちへどくまがおおふつてとびついてきました。あるもつさは、だいくさんといっしょにたべました。あるもつさがすむこ私はおとうととおそびました。おひるまえにみると私は、こおひをわがして、それからほりにやをつくりました。かひるのあと四時までべんきようをしました。それから竹の中へたまごをとりにいきました。たまごをとうてから短文を書きました。するともうおゆうはんでした。おゆうはんがすむと私とおとうさんとおとうととかるたであそびました。おとうとが一ばんになりました。それからおとうさんが二ばんになりました。私はびりになりました。

子供たちに日本語を

なうわせましよう

スルッホを出て、十三才以上であれば公認日本語学校で学ぶことができます

ドーナ春枝先生(松本春枝さん)を

あたすね下さい

ブリキ細工

一坊の御註文に

応じます

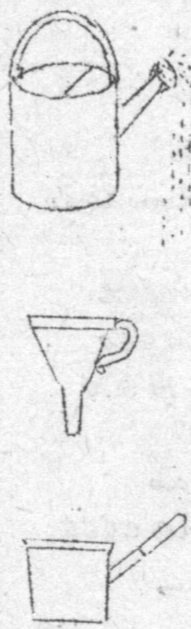
ワレシヤンテ、ウアルガス術

青山パタリア向側池田製鐵所アト

田添照夫

Funilaria Taroe

私こと岩崎惣吾様の御生前、岩崎ブリキ店にて数年修業したもので、此の度御懇意の方々かっのおすすめに、前記の場所で開催いたしました。出来る限り勉強いたしました。迅速丁寧を旨と致します。故多少にかかわらず御用命下さるよう御願申上げます



電力のムラには

となたもおこまりでしょう

トランスホルマドール

アップダウン

おつけ下さい

冷蔵庫、螢光灯、電熱器、などに、その他、ぜひ必要なるものです

上ヶ島製粉工場

上ヶ島晴丈

御礼

金ニコント也 会館カネイラ御尋附

吉浦秀次郎様

八月二十日 バスター婦人会

会館カネイラ設備については、委員の方達が選定の上、ジュンジャイの工場から実物見本をとりよせ、注文をされた。贈り物は深く、感謝の心で、お返しをいたします。十月中にはお返しの見込の由、右、中間報告、詳しいことは後日発表いたします

婦人会

五十六年度の日本の文学(創作)の中で大きな反響を呼んだのは深沢七郎の『桐山節考』だ、たといます。本年二月一日初版、四月十日で九版を重ね二十万と三十三万とを重ねつくれたといひます。...

桐山節考

深沢七郎作

山と山が連つていてどこまでも山ばかりである。この信州の山々の間にある村。向う村のはすれにおりんの家はあった。家の前には大きな桐の根の幼株があった。...

もう誰か唄い出さぬものかと思つていた村の金踊り唄である。今年はなかなか唄い出さぬな。たのでおりんは気にいらぬた。この歌は三車たては三ヶ年をとるという意味で村で七十七になると桐山まゝりに行くので年寄りにはその年の近ごろを知らせる歌であつた。...

は山へ行つて留守だ。だがおりんが一人できめてしまつたといふより、飛脚の云うことを聞いて、辰平が帰つてくればその事を話さなければいゝのである。...

慢性病の治療法は、ただ一つ「マグネタイザー」であるのみ。ガ、ココな慢性病は、薬や注射だけで治りませぬ。細菌に荒され細胞を新しいは駄目です。...



慢性病者は重い十字架にたがれたようなもの、クスリや注射で中々癒らない。

世界大國専売特許 塩修元帝大教授 起長波磁力線治療器 大内恒 医学博士 製元 川崎電工業株式會社 伯國代理店 オーミリミタ

御用命は 植木商店

のた。孫は総領のけさ者が十六で男三人、末が女でまだ三つである。辰平も後添がなかなかきまらなかつたので、此の頃は諦められしく、ほんまにしまし、何だつて元気がない様子はありんも村の人も気がついてたが、これまた元気をとりもどすだろうとありんも、おまも根っこに腰をかいたとき、ありんは家の中から大声で辰平のうしろへあひせかけるように云った。

「おい、向う村から嫁が来るぞ！ おととい後家になつたばかりだけど、四十九日かすんだら来るちゆうを。」

ありんは嫁がきまつたことを話すと、手柄話を知ると、うに得意満々だ。

辰平はふり向いて

「そけい、向う村からけい、いくつだぞ？」

「ありんは辰平のそばに飛んで行った。王やんと云うのを、おまんと同じ四十五だぞ。」

辰平は笑いが

「いまさう、色気はねえから、あつはつは。」

辰平はそれ臭いのか、ありんに相手をうって喜んでるうれしかった。辰平は後妻を賞うことより、何か外のことで思いつてゐるものがあるのじゃあないかと、筆算りの勘でそんなことも思つたが、ありんは夢中になつて嬉しがつていた。

植山には神が住んでゐるのであつた。植山へ行った人は皆神を見てきたのであるから、誰う者ななかつた。現実には神が存在するものであるから、他の行事も力をいれ、祭をしたのである。祭りと云えば、植山祭しかないのである。祭りがある。それに盆と続いているので、盆踊りの歌も植山祭りの歌も一緒になつてしまつた。

盆は陰曆七月十三日から十六日迄だが、植山祭りは盆の前夜、七月十二日の夜祭りであつた。初秋の山の産物、山栗、山ぶどう、椎、樫の実、さきの出あきの外に最も貴重を存在する白米を炊き、食べ、さきくを、夜中御馳走をたべる祭りであつた。白米は「白萩様」と呼ばれて、この寒村で、作ても収穫が少く、山地で平地がないので、収穫の多い栗、稗、玉蜀黍等が常食で、白米は植山祭りの時が、よくよくの重病入をなれば、食へられないものであつた。

盆踊りの歌にも

ありんの父、あやん身持ちの悪さ

三日病人だらりまんま炊いた

これは贅沢を戒めた歌である。一寸と病氣になつた、うちも親父は、すぐ白米を食べると、ここで、極道者とか馬鹿者だと嘲られるのである。この歌は、いろいろな格言のように使われて、息子が怠り、時など、親と、兄弟が

ありんの兄、あやん身持ちの悪さ

三日病人だらりまんま炊いた

と唄ふ遊びが、ついでに、あんな御苦労なしの奴、自分萩様を炊き、食べたいなどと、古い出しはしないだろうかと警告代り、使われたり、親の命令をきかないとき、子が親に意見を、するときに、使われるのである。

植山祭りの歌は、栗の花が咲くと、うらが一つだけであるが、村の人達が、諧謔を替歌を作つて、いろいろな歌があつた。

ありんの家は村の、はすれにあつたので、裏山へ行く人の通り道のようになつて、もう一月もたれば、植山祭りであつた。歌が一つあると、次から次へと唄い、まされて、ありんの耳に、きこえてきた。

塩屋のおどり、さ人運がよい

山へ行く日、日にや雪が降る

村では、山へ行くという言葉に、二つの全く違つた意味がある。一つは、誰でも、どの方の意味だか、を知り、わかることが、出来るのである。仕事で、山へ登る薪、より炭焼きなどは、行くことが、山へ行くのであつて、もう一つの意味は、植山へ行く、という意味なのである。植山へ行く、日に雪が降る、おどり、さ人運がよい、人である、と云い、伝へられていた。塩屋のおどり、さ人、という人は、いよいよ、あるが、何代か前に、笑在した人であつて、その人が、山へ行く、日に雪が降る、という、ことは、雪がよい、人である、という、代、表、人物、で、歌、になつて、伝、へ、ら、れ、る、のである。この村では、雪など、珍、う、い、ふ、のである。冬に、な、れ、ば、村、に、時、々、雪、が、降、り、山、の、頂、は、雪、で、白、く、な、つ、て、い、る、の、が、お、と、り、さ、ん、という人は、植山へ到着した時、に、雪、が、降、り、出、し、た、の、ある、雪、の、中、を、行、く、の、を、た、ら、運、の、悪、い、こと、である、お、と、り、さ、ん、の、場、合、は、理、想、的、だ、つ、た、り、である、お、と、り、さ、ん、の、歌、は、も、つ、と、別、の、意、味、を、も、含、ん、で、い、た、の、で、あ、る、そ、れ、は、植山へ行く、には、夏、は、行、か、な、い、で、な、る、可、く、冬、は、行、く、よ、う、に、暗、黒、を、与、え、て、い、る、の、で、あ、つ、た。

ありんの家は村の、はすれにあつたので、裏山へ行く人の通り道のようになつて、もう一月もたれば、植山祭りであつた。歌が一つあると、次から次へと唄い、まされて、ありんの耳に、きこえてきた。

塩屋のおどり、さ人運がよい

山へ行く日、日にや雪が降る

村では、山へ行くという言葉に、二つの全く違つた意味がある。一つは、誰でも、どの方の意味だか、を知り、わかることが、出来るのである。仕事で、山へ登る薪、より炭焼きなどは、行くことが、山へ行くのであつて、もう一つの意味は、植山へ行く、という意味なのである。植山へ行く、日に雪が降る、おどり、さ人運がよい、人である、と云い、伝へられていた。塩屋のおどり、さ人、という人は、いよいよ、あるが、何代か前に、笑在した人であつて、その人が、山へ行く、日に雪が降る、という、ことは、雪がよい、人である、という、代、表、人物、で、歌、になつて、伝、へ、ら、れ、る、のである。この村では、雪など、珍、う、い、ふ、のである。冬に、な、れ、ば、村、に、時、々、雪、が、降、り、山、の、頂、は、雪、で、白、く、な、つ、て、い、る、の、が、お、と、り、さ、ん、という人は、植山へ到着した時、に、雪、が、降、り、出、し、た、の、ある、雪、の、中、を、行、く、の、を、た、ら、運、の、悪、い、こと、である、お、と、り、さ、ん、の、場、合、は、理、想、的、だ、つ、た、り、である、お、と、り、さ、ん、の、歌、は、も、つ、と、別、の、意、味、を、も、含、ん、で、い、た、の、で、あ、る、そ、れ、は、植山へ行く、には、夏、は、行、か、な、い、で、な、る、可、く、冬、は、行、く、よ、う、に、暗、黒、を、与、え、て、い、る、の、で、あ、つ、た。

賣 シヤーカーラ

シヤーカーラ區第七号地区一アルケール
一住地、井戸、果樹園、野菜場
餘作地 ニクワル夕

家事の都合上至急賣却致し度く
御希望の御方日私宅迄御訪ね下さい
シヤカラ区

梶家好子

NOSSA RELOJOARIA

AV. TAMOIOS, 785
FONE. 1234 TUPÃ



Para o conforto e saude de seus olhos, faça seu olho na
NOSSA RELOJOARIA.
A via qualques receita dos Drs. medicos oculistas

Relogios 眼科医処方 近視斜
Joias 眼鏡作成 視視視
Oculos メカネ作成 視視視
信用を第一とする 時計各種 カネツ類
貴金属 アリササ等

ノツサ 時計店 ツパ市

ありんの家は村の、はすれにあつたので、裏山へ行く人の通り道のようになつて、もう一月もたれば、植山祭りであつた。歌が一つあると、次から次へと唄い、まされて、ありんの耳に、きこえてきた。

塩屋のおどり、さ人運がよい

山へ行く日、日にや雪が降る

村では、山へ行くという言葉に、二つの全く違つた意味がある。一つは、誰でも、どの方の意味だか、を知り、わかることが、出来るのである。仕事で、山へ登る薪、より炭焼きなどは、行くことが、山へ行くのであつて、もう一つの意味は、植山へ行く、という意味なのである。植山へ行く、日に雪が降る、おどり、さ人運がよい、人である、と云い、伝へられていた。塩屋のおどり、さ人、という人は、いよいよ、あるが、何代か前に、笑在した人であつて、その人が、山へ行く、日に雪が降る、という、ことは、雪がよい、人である、という、代、表、人物、で、歌、になつて、伝、へ、ら、れ、る、のである。この村では、雪など、珍、う、い、ふ、のである。冬に、な、れ、ば、村、に、時、々、雪、が、降、り、山、の、頂、は、雪、で、白、く、な、つ、て、い、る、の、が、お、と、り、さ、ん、という人は、植山へ到着した時、に、雪、が、降、り、出、し、た、の、ある、雪、の、中、を、行、く、の、を、た、ら、運、の、悪、い、こと、である、お、と、り、さ、ん、の、場、合、は、理、想、的、だ、つ、た、り、である、お、と、り、さ、ん、の、歌、は、も、つ、と、別、の、意、味、を、も、含、ん、で、い、た、の、で、あ、る、そ、れ、は、植山へ行く、には、夏、は、行、か、な、い、で、な、る、可、く、冬、は、行、く、よ、う、に、暗、黒、を、与、え、て、い、る、の、で、あ、つ、た。

バストス29周年入植祭々典 決算明細表 13-14-Jul-1957

摘要	出金	入金	備考
入植祭々典協力口数		60000000	1050.00 1.200口
勸進元へ、御花		5550000	61封筒
特別御花トシテ 1封筒		50000	勸進元係一同トシテ
慰霊祭御仏前香粉料		2267000	55人3リ
余興費	1923500		
祭典準備費	1347800		
慰霊祭及敬老会費	885500		
協力口数ニ対スル賞品代	5000000		
1 農産手芸展示会へ補助	3000000		但シ協力口数ニ対ス
2 国基将棋大会へ補助	2000000		20%
3 俳句会へ補助	1000000		30%
4 少年野球へ補助	1500000		20%
5 農道大会へ補助	1000000		20%
6 宮真展覧会へ補助	1000000		20%
7 生花展覧会へ補助	1000000		30%
8 青年野球へ補助	1500000		20%
9 婦人会へ補助	1000000		
会計報告費	150000		
計	5971800	6786700	
差引残金	814900		
	6786700	6786700	

上記決算ハ理事会並ニ代議員会ノ承認ヲ得 残額 8149.00 日連合日会
 本会計ハ振替エマシタ 1957年 8月 22日
 入植祭々典委員会 特別会計 植木西 二 治
 守 越 外

勸進元ニ対シテ多数ノ御方々ヨリ御花ヲ戴キ有難クゴザイマシタ
 尚慰霊祭ニ際シ沃山ノ御仏前御香料ヲ頂戴シ有難クゴザイマシタ
 上記報告ト併セ厚ク御礼申上ケマス

(協力口数1400口作成シマシタガ 200口 餘リマシタ)

みかん苗各種
 柿苗 (タウバテ種丸)
 ブドウ苗 (白フジ種丸)
 日本松 (根ナリ完リ)
 庭園公園用植木苗
 免疫性柿の台木
 シヤカラ

角藤苗木園

Concerta-se Motor Divacos

電気・ガソリン・重油の
 色々なモートルでも
 修理いたします
 出張いたします
 (迅速丁寧 確實な仕事をします)

山中 正 夫

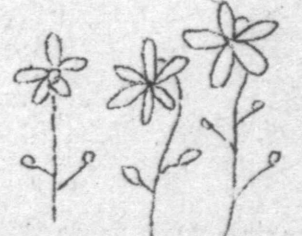
だから植山まいりに行く人は雪の降りそ
 うな時を迷んで行ったのである。雪が降り積れ
 ば行けない山であった。神の住まいる植山は七
 つの谷と三つの池を越え行く遠い所にある
 山であった。雪のない道を行って到着した時に雪
 が降りなければ運がよいとはおわれぬのである。この
 歌は雪の降る前に行けというかなり限ら
 れた時の指定もしているものである。(つと)

夏はいやだよ 道が悪い
 心かで長虫やまのかがし

苗木取次

(州農務局、苗)

果樹苗木一坊
 植林用苗木
 観賞用苗木
 花 奈色々
 多少に不拘
 御申込下さい
 シヤカラ 相川 和義
 スハバストス産業組合内
 招 崎 匠



Cooperativa Agricola de Bastos

バストス産業組合

鶏卵 飼料の取扱いに就ては既に各位の信用を得、今度新しく
 一般農産物も養鶏部へ取扱います
 詳細は 松本係員に御相談下さい

長らく当組合では一般農産物販売取扱を中止して居りましたところ、追々
 経営面も好転して参りましたので、聖市中央会と種々折衝の結果、聖
 市々場方面の販売網を確保するに到りました。
 組合員各位も生産物を組合を通じて販売の御希望を愈々切実となつて参
 りましたので、確實な陣立を以て萬全を期し活躍を致し、必ず各位の御期
 待に添う覚悟です。
 一般農産物 トマト、バタタ、西瓜、アメントインを始め一般野菜類に
 到る迄、量の多少を問わず、お取扱いか致します。としまして御利用下さ
 る様、御通知申し上げます。

一般農産物取扱開始

計 協受金 (医療部改組前) 未拂手形 (藥品及消耗材料) 在着金 (別会計より既ニ支払ッタモノヲ) 松本スベキヤ、
 衛生 太 郎 田 衛

Associação Beneficente de Bastos. da 1 de Abril de 1957
 バストス医療部収支計算書 a 30 de Julho de 1957
 七月三十一日現在

摘 要	Deve	Haver
病院総収入 (診療、検尿、部屋代、用品代)	57980.00	
別項雑収入 (家賃、水代、寄附金等)	1628.40	
会 費	69200.00	
電気代		4610.50
電話雑費		9252.00
見舞金		1000.00
薬品代		20128.80
電話及通信費		2710.50
運賃		405.70
給料 (租、4.5.6 / 3ヶ月)		72600.00
修繕費及保存費		4500.00
社交費		2500.00
現金在着		11100.90
合 計	128808.40	128808.40
課 目	Deve	Haver
現金在着	11100.90	
会費未収相当額	10800.00	
在庫品 (手術用品)	8519.00	
在庫品 (消耗品)	8000.00	
未払給料 (七月分)		24200.00
仮受金		7639.00
未払手形		16949.20
立替金		2775.00
計	38419.90	
不足金	13143.30	
	51563.20	51563.20